

新しい幸せを、わかすこと。

NORITZ

株式会社ノーリツ



第74期 中間株主通信

2023年1月1日～2023年6月30日



ノーリツは環境省が認証した
エコ・ファースト企業です。



株主の皆さまへ



代表取締役社長
腹巻 知

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2023年12月期(第74期) 第2四半期連結累計期間決算の概要

当第2四半期連結累計期間は、国内外ともに経済活動正常化に向けた動きが加速し、改善に向かいました。一方、世界的な物価上昇や金融市場の引き締めに加え、ウクライナ情勢が長期化するなど地政学的リスクの高まりも重なり、依然として不透明な状況が継続しました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「Vプラン23」の最終年度を迎えました。当中期経営計画の3年間を「飛躍のための地盤固め」のフェーズと位置付け、国内事業は高収益体質への進化、海外事業は持続的成長を目指しています。さらに、「盤石なサプライチェーンの構築」と「DX推進による企業活動の変革」を重点課題として加え、製品の安定供給と生産プロセスの最適化に取り組んでまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高

997億52百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益12億76百万円（同59.2%増）、経常利益13億83百万円（同8.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億61百万円（同105.8%増）となりました。

国内事業セグメントは、売上高649億44百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント損失1億6百万円（前年同期は6億円のセグメント利益）となりました。2021年からの製品供給の遅延を解消し増収となったものの、原価高騰の影響を受け、増収減益となりました。

温水空調分野では、ガスと電気の2つのエネルギーで効率よくお湯をつくる「ハイブリッド給湯暖房システム」の販売台数を前年同期比150%に拡大、非住宅分野でも、ボイラーから業務用ガス給湯器への取り換えを促進し、売上高を110%に拡大するなど、カーボンニュートラル実現への取り組みの成果がありました。一方、ガスふろ給湯器と厨房分野においては、消費低迷の影響に加え、社会課題解決型新商品の発売を7、8月に控え、流通の買い控えが発生し、販売台数が大きく減少しました。

海外事業セグメントは、売上高348億7百万円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益13億83百万円（同586.7%増）の増収増益となりました。中国エリアでは、需要回復が遅れる中、高付加価値商品の拡販で収益を拡大しました。北米エリアでは、住宅不況による需要低迷で苦戦しましたが、収益性の高い業務用および暖房用機器の拡販により収益を確保しました。豪州エリアでは、ニュージーランド向けの瞬間式タンクレス給湯器やホームセンター向けタンク式給湯器の販売が順調に推移したことに加え、業務用分野も売り上げを大きく伸ばしました。



詳細は、当社ホームページに掲載されている「決算短信・決算関連資料」をご覧ください。

https://www.noritz.co.jp/company/ir/ir_library/document.html



ESG指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定

環境・社会・ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている日本企業を対象とした指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初めて選定されました。なお、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」も、2022年3月の組成当初から継続して選定されています。



FTSE Blossom Japan Index



詳しくはこちら

JICA研修員が特例子会社の株式会社エスコアハーツを視察

2023年6月、国際協力機構（JICA）とスリランカの社会福祉や労働に関わる行政官が、障がい者雇用の現場視察に訪れました。JICAが実施中の技術協力プロジェクト「スリランカにおける障害者の就労支援促進プロジェクト」へ貢献します。



詳しくはこちら

新商品発表会



2023年4月と5月に、神田明神ホール（東京都千代田区）で、この夏に発売した社会課題解決型の温水と厨房分野の新商品発表会を開催しました。新商品は、現代の日本人が抱える生活の悩みや社会の課題を解決するために付加価値機能を搭載しています。当社ではこのような社会課題を解決する商品の構成比をあげ、社会に貢献してまいります。



温水分野の新商品発表会はこちら



厨房分野の新商品発表会はこちら



日本生理人類学会 第84回大会で「入浴における体温変化が睡眠に及ぼす影響」について研究結果を発表（九州大学教授と株式会社ノーリツの共同研究）

ノーリツレポート2023「ノーリツの価値創造について」掲載しています。

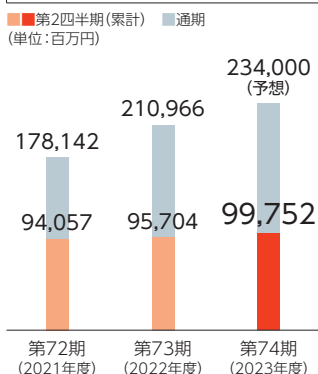
詳しくはこちら



連結財務ハイライト

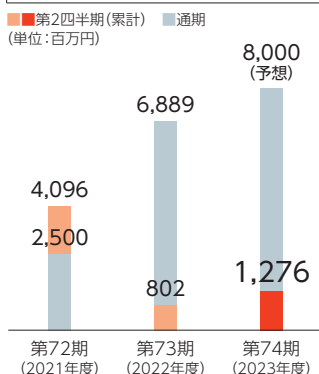
売上高

99,752百万円



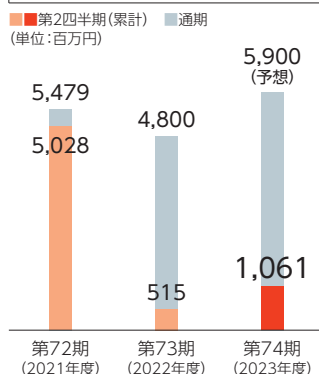
営業利益

1,276百万円



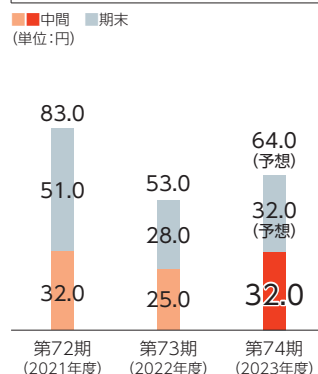
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

1,061百万円



1株当たり配当金

32.0円



高効率ガスふろ給湯器「GT-C72シリーズ」 無線LAN対応高機能リモコン「RC-K001Wシリーズ」

現代の日本人が抱える社会課題に寄り添った機能を給湯器に搭載しました。コロナ禍で高まった衛生ニーズや、高齢化社会に応えるために“キレイ”と“見まもり”機能を進化、さらに現代人が抱える“睡眠への悩み”に対するサポート機能も搭載しました。また、無線LAN対応高機能リモコン「RC-K001Wシリーズ」は、お役立ち情報やお住まいの地域の天候に応じた情報を通知します。



ビルトインコンロ「Orche (オルシェ)」

ビルトインコンロ「Orche (オルシェ)」に調理中に鍋底などの温度を表示し、火力を自動調整して安定した調理をサポートする当社独自の「温度クック機能」を搭載しました。調理中の温度を1℃単位で見える化することで、従来は経験と勘に頼っていた火加減に迷いがなくなり、“失敗しにくい”“上手にできた”という成功体験をサポートします。また、清掃性と静音性を両立するレンジフード「easia (イーシア)」と1,700のレシピを掲載した専用アプリ「つなぐレシピ」も同時にリリースしました。



グローバルニュース／中国

能率(中国)投資有限公司が“上海AWE”と“北京ISH”に出展

2023年4月と5月に、能率(中国)投資有限公司が、上海で開催された世界3大家電見本市の一つ「Appliance & Electronics World Expo 2023」と北京で開催された展示会「2023 Beijing International Sanitary and Heating」に出展しました。

ブース内では、給湯器、日本製のコンロなどを展示しました。なお、同展示会で新商品発表も行いました。

同社では、今後もブランド力強化につながる取り組みを積極的に行ってまいります。



「Appliance & Electronics World Expo 2023」



「2023 Beijing International Sanitary and Heating」

CO ₂ 排出量の削減目標		
2030年目標		2050年目標
事業活動を通じた低炭素社会の構築 国内事業所によるCO ₂ 排出量を2030年までに	製品を通じた低炭素社会の構築 国内で製造・販売する製品使用時のCO ₂ 排出量を2030年までに	脱炭素社会の構築 事業所・製品とも海外を含むCO ₂ 排出量を2050年までに
50% 削減 (2018年度比) 1.5°C 水準 ^{※1}	30% 削減 (2018年度比) WB2°C 水準 ^{※2}	ゼロ化

※1：世界の平均気温上昇を産業革命前より1.5°C未満に抑えることを目指すパリ協定の水準

※2：Well Below 2°Cの略。世界の平均気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回るパリ協定の水準

地球規模でのCO₂削減

ノーリツグループは、製品の「CO₂排出総量」の削減に加え、事業拡大により排出量を抑制できる「CO₂削減貢献量」の向上にもこだわり、事業成長と環境への貢献の両立を図ります。

「CO₂削減貢献量」向上

ノーリツグループは事業領域の拡大により環境に貢献する自社製品への置き換えでCO₂排出量を抑制し「CO₂削減貢献量」を向上しています。
今回は、非住宅分野の商品を紹介します。



NORITZ AMERICA CORPORATION 「HYBRID HOT SERIES」 発売

タンク式給湯器と瞬間式タンクレス給湯器を組み合わせた業務用商品を開発し、2023年5月に発売しました。レストランやホテルなど、短時間に大量のお湯を必要とする現場で、大型のタンク式給湯器を設置することなく安定したお湯の供給が可能です。



「集合排気システム」の全国展開でボイラーからの取り換えを促進

業務用給湯器を屋内に設置する際、給湯器1台ごとに排気筒が必要でしたが、「集合排気システム」の採用により排気筒の一本化が可能となりました。ボイラーからガス給湯器への取り換えにより、約20%（当社調べ）のCO₂の削減貢献量が見込めます。



創業者「太田敏郎」の創業の思いを受け継ぎ、変革挑戦しつづける。

2020年1月に92歳で逝去した当社の創業者であり名誉会長の太田敏郎の「お別れの会」を2023年5月30日、神戸ポートピアホテルで開催し、約860名の方にご参会いただきました。（当初2020年3月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大で延期しました。）

1982年に大阪証券取引所第2部に上場以来、株主の皆さまには多大なるご支援ご鞭撻を賜りましたことを、ここに改めてお礼申し上げます。



株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
上場証券取引所	東証プライム市場
公告方法	電子公告 <電子公告掲載ホームページアドレス> https://www.noritz.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告を行います)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

製品に関するお問合せ先
ノーリツコンタクトセンター 0120-911-026
(平日:9:00～18:00、土曜日:9:00～17:00)
(携帯電話・スマートフォンから 0570-064-910)

